

多様な就学支援制度について

【高等学校就学支援制度】 … 2026年度からの予定です …

- 2025年度改正 …所得制限を撤廃し、年118,800の助成。公立高校は完全無償化
- 2026年度改正予定…私立高校の助成の所得制限の撤廃。支援額を年45万7000円(上限金額)に引き上げ。各高校に直接支払われる。

※札幌近郊の私立高校で授業料が45万7000円を超える学校はありません

※通信制高校と提携している各種学校の場合は、助成額を大きく超える学校があります

文部科学省「令和5年度子供の学習費調査」によると、授業料以外にかかる費用は入学金

- 修学旅行費・教科書代・学用品・PTA会費・生徒会費・教科外活動費・通学費・制服代(タブレット購入費は除く)等の合計で「公立高校」で平均年間約30万円、「私立高校」で平均年間約53万円となっています。但し、この金額はあくまで全国平均なので北海道はもう少し低いと思われます。

【高等学校等生徒通学交通費助成制度】 … 全校・全家庭対象 …

【条件】札幌市内に居住し、石狩管内の高校等に通学していて、公共交通機関の定期券又はスクールバスを利用して、月額14,000円を超える場合

【助成額】月額14,000円を超える金額の半分を助成

例) 定期代が16,000円の場合、

$(16,000 - 14,000) \div 2 = 1,000$ 円の助成

※通学交通費助成制度のHP →



【奨学金について】 6月配付予定の「進路のしおり」に記載されています

保護者の皆様には学校に案内が来ましたら、進路だよりでお知らせします。配付予定の進路のしおりに詳細が掲載されていますが、代表的な奨学金をお知らせします。

【返還不要奨学金】

- 札幌市奨学金(普通科) • 札幌市特別奨学金(職業科)
- 梅津奨学金 ※収入や成績により採用が決まります

【奨学金】

- 北海道高等学校奨学金 • 日本学生支援機構奨学金 • あしなが奨学金
- 交通遺児奨学金 • 母子・父子福祉資金

※収入や成績など採用条件があり、返還方法も様々で一部免除もあります

※例年であれば各種奨学金の申し込みは2学期9月以降に開始されます。

入学試験時のスマートフォンの取り扱い

【私立高校】…スマホの持込はOK。但し、電源を切ってカバンの中へ。使用は不正行為。

【公立高校】…スマートフォンの持込は認めない。持込が発覚した場合の処置は各学校の判断による。過去の対応例がないので、どうなるかは不明。

《腕時計について》…スマートウォッチは不可。しかし、試験会場に時計が無い場合が多いので、入学試験時までには、腕時計を用意して下さい。